

問1 平安時代中期の「国風文化」において、日本の気候や風土に合わせて発展した建築様式の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)

- 畳を敷き詰め、障子やふすまで部屋を細かく仕切った実用的なつくり
- 外敵の侵入を防ぐために石垣や堀をめぐらせ、壁を厚くした堅牢なつくり
- 急な傾斜の屋根を持ち、屋根裏で養蚕を行うことができる山間部のつくり
- 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり

問2 平清盛は、娘の徳子を高倉天皇に嫁がせ、その間に生まれた子供を天皇として即位させることで権力を確立しました。この時、清盛が「外戚」という立場で後見した天皇は誰ですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

- 後醍醐天皇
- 崇徳天皇
- 安徳天皇
- 白河天皇

問3 平安時代初期、桓武天皇は律令制度の立て直しを図るため、地方政治の乱れを正そうとしました。その一環として、任期を終えた国司が交代する際の事務引き継ぎを厳しく審査するために設置された役職（勘解由使）の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)

- 国司が交代する際に不正を行い、私腹を肥やすなどの問題が多発し、税の徴収に支障が出ていたため
- 国司が東北地方の蝦夷と独自に和平交渉を行い、朝廷への納税を免除する約束を交わしていたため
- 国司が九州の沿岸警備を担当する防人の指揮を拒否し、地方の守りが弱体化していたため
- 国司が中央政府の許可を得ずに独自の軍隊を組織し、平安京の警護を脅かす事態となっていたため

問4 日本の有形文化財の分類において、奈良県の東大寺の大仏と並び、東北地方の代表的な歴史的建造物として岩手県に現存する中尊寺金色堂があります。この建物を建立し、本拠地である平泉を拠点として12世紀に三代にわたって繁栄した一族を選んでください。 (2024年 愛知県公立入試 類似)

- 奥州藤原氏
- 北条氏
- 平氏
- 太宰府の官人

問5 平清盛が行った、武家政権としての経済的な基盤を強化するための政策として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

- 新皇と自称して関東に独自の朝廷を樹立し、地方独自の税制を確立しようとした。
- 全国に守護と地頭を設置し、各地の軍事権と警察権を掌握することで徴税を安定させた。
- 有力な御家人による合議制を導入し、裁判の公平性を高めることで経済活動を活性化させた。
- 現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、中国の宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。

問6 摂政・藤原道長の子である藤原頼通は、京都の宇治に阿弥陀堂を建立しました。池の中島に建てられ、屋根の上に鳳凰が据えられたこの「平等院鳳凰堂」という建築物は、当時のどのような思想や背景を反映して造られたと考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)

- 浄土信仰に基づき、人々が憧れた極楽浄土の様子をこの世に再現しようとした
- 遣唐使が廃止されたことで、大陸の影響を完全に排除した日本独自の寺院様式を確立しようとした
- 武士が政治の実権を握り始めたため、質素で力強い建築様式を民衆に示そうとした
- 日本全国に仏教を広めるための拠点として、地方から役人を呼び寄せる講堂として活用しようとした

問7 平安時代、894年に遣唐使が停止されたことをきっかけとして、日本独自の風土や感覚に合わせた文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

- 飛鳥文化
- 桃山文化
- 国風文化
- 天平文化

問8 11世紀後半から始まった、天皇が位をゆずって上皇（太上天皇）となったあとも、引き続き政務を執り行う政治の形態を何と呼びますか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)

- 公武合体
- 院政
- 親政
- 摂関政治

問9 平安時代の中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。この時代に、漢字を簡略化したり一部を用いたりして考案された、日本語の音を表記するための文字を何といいますか。 (2016年 京都府公立入試 類似)

- 万葉仮名
- 甲骨文字
- かな文字
- 梵字

問10 東北地方に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、鎌倉時代初期に滅亡へと追い込まれた背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)

- 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため
- 自由な商工業を重視する政策が、当時の朝廷が定めた律令制度に違反したため
- 足利尊氏による新しい政治体制の樹立を拒み、武家勢力の反感を買ったため
- 鎌倉幕府を樹立しようとする平清盛の勢力拡大に巻き込まれたため

問11 平安時代に行われた「院政」と「摂関政治」の違いについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

- 院政は聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした政治であり、摂関政治は白河上皇が始めた新しい政治体制である。
- 院政は平氏や源氏などの武士が中心となって行う政治であり、摂関政治は公家を中心となって行う政治である。
- 院政は鎌倉に幕府を開いて行われた政治であり、摂関政治は京都の御所を中心に行われた政治である。
- 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。

問12 平安時代初期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂が東北地方への遠征を行った理由と、その際に与えられた役職の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- 全国の戸籍を作成し租税を徴収するため、国司（こくし）に任命された。
- 北九州の防備を固めるため、防人（さきもり）に任命された。
- 近畿地方の寺院の勢力を抑えるため、関白（かんぱく）に任命された。
- 東北地方の蝦夷（えみし）を服従させ支配を広げるため、征夷大將軍に任命された。

問13 8世紀には漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられていましたが、10世紀から11世紀にかけて『源氏物語』などの文学作品が生まれる中で、日本独自の感情を細やかに表現するために広く普及したものは何ですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)

- 武士が戦功を記録するために考案した「記号文字」
- 僧侶が経典を読み解くために新しく発明した「梵字（ぼんじ）」
- 大陸の言葉をそのまま公用語として用いるための「漢文体」
- 漢字を簡略化したり一部を抜き出したりして作られた「かな文字」